

第 33 回 自然史標本情報発信に関する研究会

2019 年 6 月 17 日

過去数回の研究会において、基礎的な技法について充足されていないニーズがまだまだあることがわかりました。また、S-Net システムの刷新によっても新しい体制でのデータ提供が求められています。情報のテクノロジーは進歩を続けています。そこで、今回は基本に立ち戻って地理情報を地図にプロットする方法と、絶滅危惧種のデータの取扱いについて実演を通じて紹介します。また、この分野の最新情報についても専門家に話題提供していただきます。今回の会合を通じて、より品質の高いデータ提供に結びつけたいと思います。

日時 2019 年 6 月 17 日 (月) 13:00~17:00

場所 国立科学博物館 上野本館 地球館 2F 講堂

主催 国立科学博物館

協力 NPO 法人 西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラム

13:00-13:10 開会挨拶・趣旨説明

13:10-14:00 レクチャー [国立科学博物館 細矢 ほか]

- 1) 地理情報の基礎知識
- 2) 新しいレッドリスト種判別システム
- [3) データカーペントリー入門]

14:00-14:20 休憩

14:20-16:00 実演・実習 [国立科学博物館 細矢・神保・海老原・中江・水沼]

16:00-16:30 レクチャー

CARTO 最新情報紹介 (Pacific Spatial Solutions 伊勢 紀)

16:30-17:00 討論・意見交換

S-Net の改善にむけて
高品質なデータの提供のために必要なこと

※参加者は、エクセルが入った、WiFi が利用できる PC を持参することが望ましい。